

園だより

『今月の保育のめあて』

☆彡 秋の空気・自然の音や声を聴いてみよう



今月は「絵本を通して、ことばと心を通いあわせる」について書いてみますね・・・

子どもと保育者の日常のかかわりは、子どもの**気持ち**や**心の動き**を汲みとって、可能な限りその子その子に対応することで、子どもの主体性や意思を尊重した保育が成り立っていくと私は思うのです。

絵本を保育者に読んでもらうことに関していえば、この時期は、子どもたちが日常的に出会うものや、季節の行事ごとが展開されている絵本を選んで、読み聞かせをしています。（絵本・紙芝居・パネルシアター）

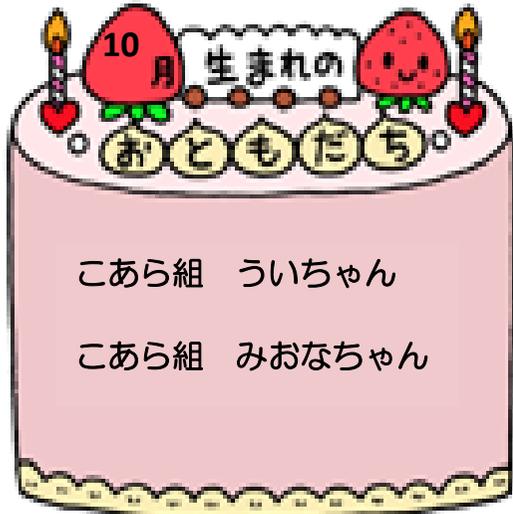
子どもは**対一**、又は他の子どもたちと一緒に、保育士の**気持ち**のこもった読み聞かせに耳を傾けながら、自分の知っているものや、見たものを絵本の中に見つけ、絵本を通してやりとりされる自らの**気持ち**のありようを経験します。

保育士の声を通して絵本を読んでもらい、描かれているものや言葉で、**自分の気持ちやイメージを重ねる経験を積んで**いくなかで、自らの経験で得た**イメージの世界の扉を開く**ことになっていると思われま

す。絵本の世界（ストーリー）と自らの**実経験**が大きくかけはなれたものでなければ、絵本の世界、つまり**実経験を越えたイメージの世界**で子どもは**空想し頭の中**であそびます。

また、保育士の**気持ち**のこもった声で展開する絵本の世界を、保育士と一体となって（**共振**）、自らの**気持ち**の揺れ動きを経験します。0、1、2歳児は**現実と・つもり・見立て・ごっこ遊び**などを含めた**イメージの世界**を自在に行き来しながら、感性を育てていくこととなります。その先には**言葉の世界**が開け、子どもの**イメージ**を豊にする題材の絵本を沢山選んで行きたいと考えております。

園長 丸池



うさぎ

うさぎ組は最近嬉しいことに、オムツ交換時に便器に座るよう誘い掛けをすると喜んで座ることを学び「おしっこ」を出すという次の行動に努力する姿が見え始め、最近ではオムツを脱ぐと、自分から便器に座ったり、おしっこをしたりする姿が多々見られるようになってきました。「お家でもできるかな!」と先生は楽しみにしています。



ぱんだ

「ぞうさん機関車ぽっぽぽ」の紙芝居を読んでから、お友たちのように繋がってシュッ、シュッ、ポッポと電車ごっこしたり、保育室のロッカーを新幹線や電車に見立てて、「新幹線に乗っているの。バイバイ」と言葉で楽しんでいる姿が見られるようになってきました。秋の季節を満喫出来るようにお天気の良い日には、秋の紅葉、虫さんの声を聴けるようにお散歩を沢山出来るようにしたいと思います。

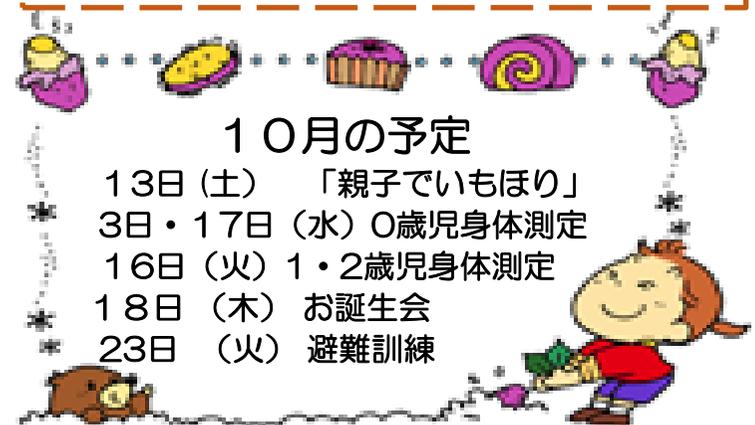


こあら

0歳児はだんだん行動範囲や意思表示が上手く出来るようになり、1歳のお誕生を迎えたお友達5名で、ここ2カ月間で2名のお友達が誕生を迎えます。最近では室内を所狭しとハイハイで活発に動いています。また、お誕生を迎えているお友達は安定した歩行で靴を履いて歩くことを楽しんでいきます。今月は散歩や園外に出る機会を多く増やし、秋の自然を身体で感じお友達と楽しくお散歩にでかけたいと思っています。



- ☆10月13日(土) 親子でいもほり会
- ・場所・・・現地 追ってご連絡致します。
- ・時間・・・10時～11時
- ・当日の保育はありません。



10月の予定

- 13日(土) 「親子でいもほり」
- 3日・17日(水) 0歳児身体測定
- 16日(火) 1・2歳児身体測定
- 18日(木) お誕生会
- 23日(火) 避難訓練